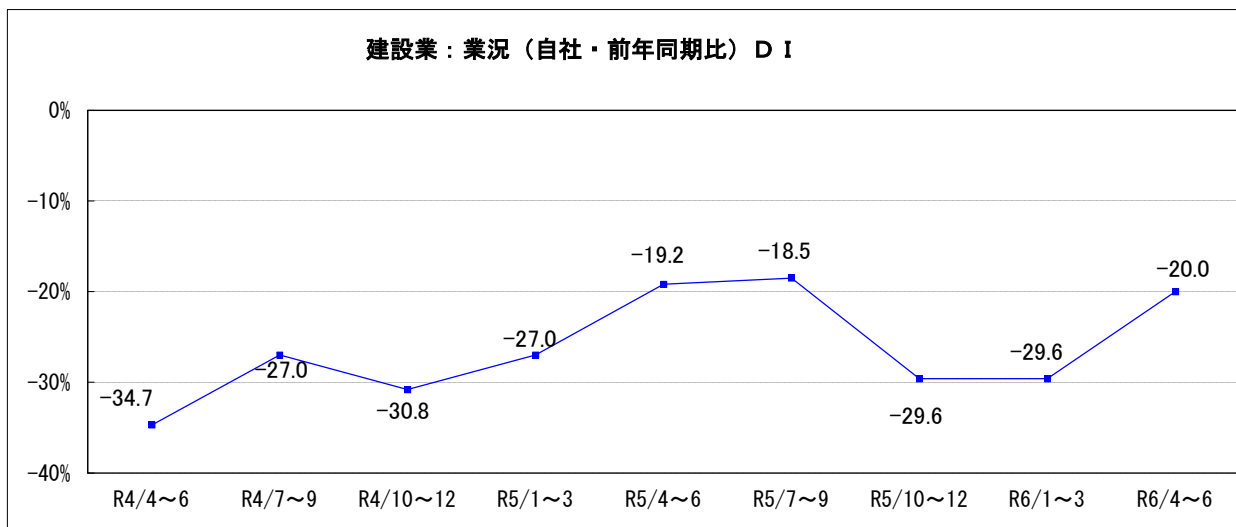


3. 建設業の動向

(1) 業況概要（前年同期比）

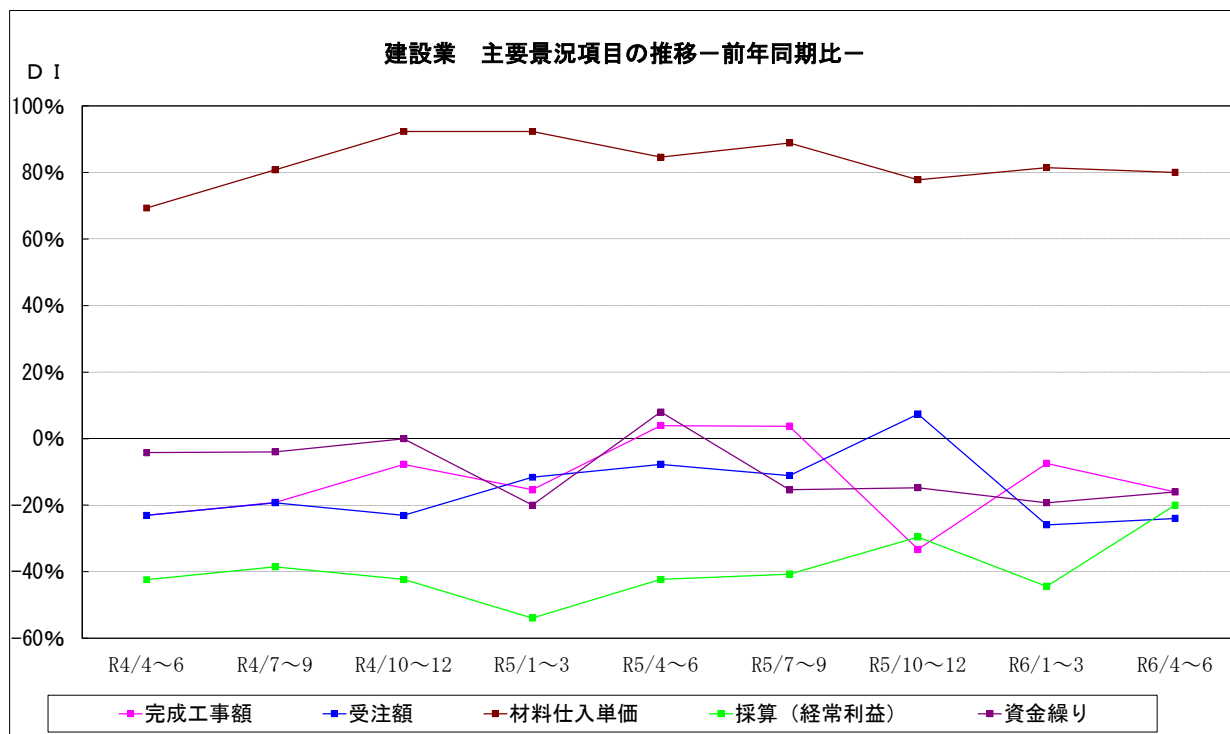
今期の業況DI値は-20.0。前期の-29.6から9.6ポイント上昇した。

来期の見通しは-12.0の予想である。



建設業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

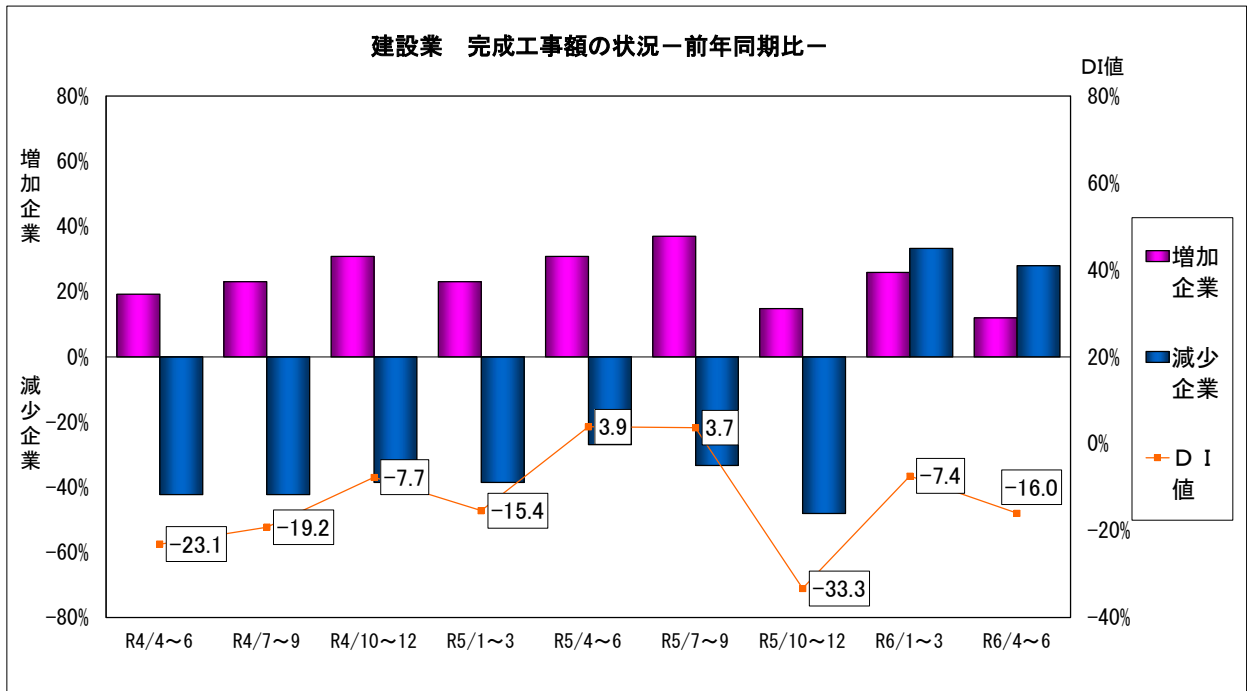
	前々期 (R5年10月~12月)	前期(A) (R6年1月~3月)	今期(B) (R6年4月~6月)	今期と前期の差 (B)-(A)	来期見通し
完成工事額	-33.3	-7.4	-16.0	-8.6	-20.0
受注額	7.4	-25.9	-24.0	1.9	-12.0
材料仕入単価	77.8	81.5	80.0	-1.5	40.0
採算（経常利益）	-29.6	-44.4	-20.0	24.4	-24.0
資金繰り	-14.8	-19.3	-16.0	3.3	-12.0



(2) 主要項目の概況

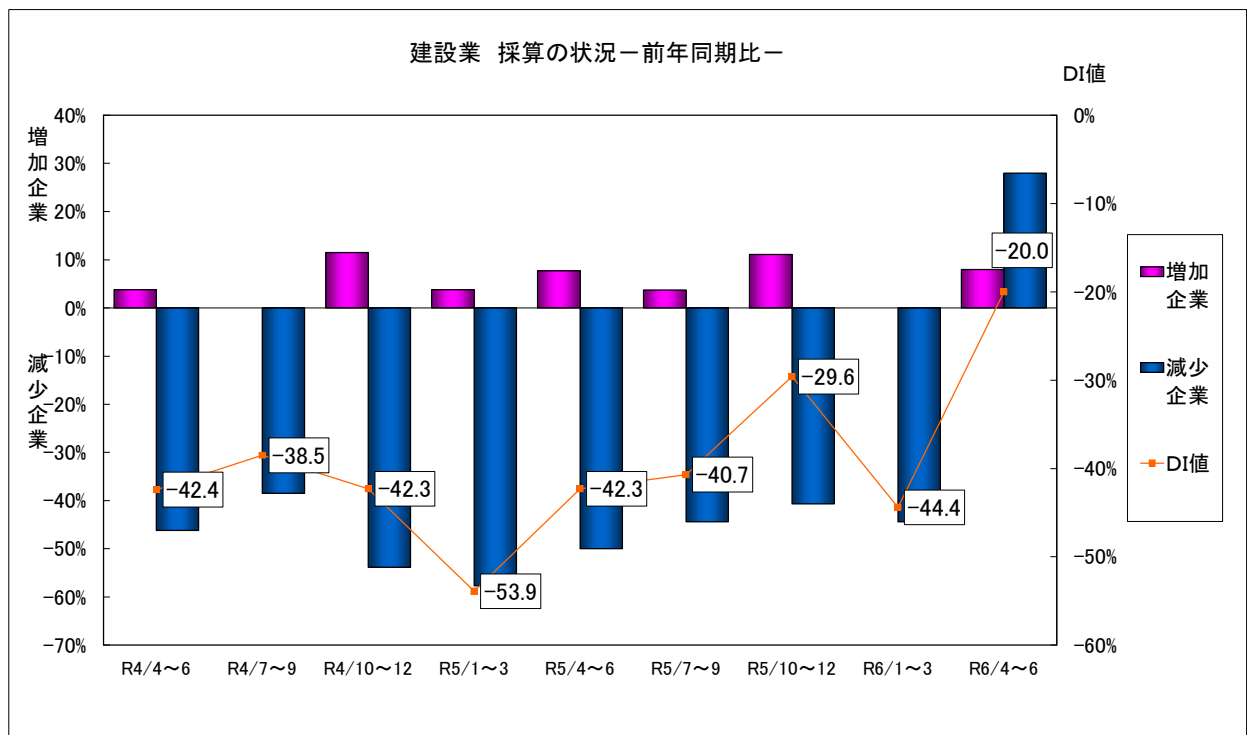
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事（請負工事）額DI値は-16.0。前期-7.4から8.6ポイント上昇した。
来季の見通しは-20.0の予想である。



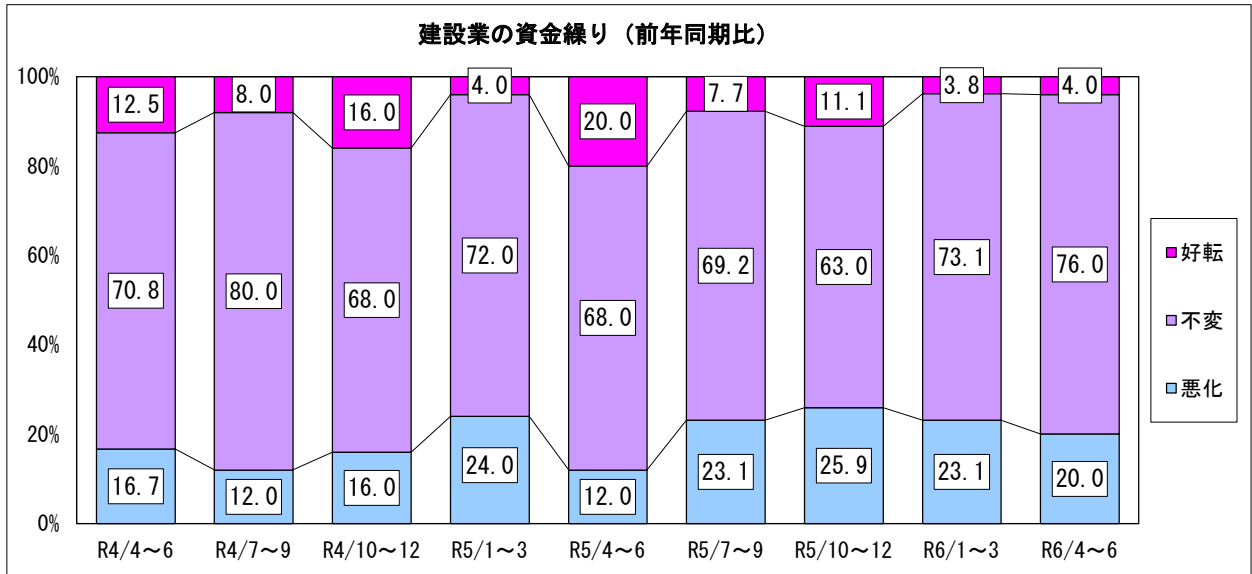
②採算（前年同期比）

今期の採算（経常利益）DI値は-20.0。前期の-44.4から24.4ポイント上昇した。
来季の見通しは-24.0の予想である。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は-16.0。前期の-19.3から3.3ポイント上昇した。
来季の見通しは-12.0の予想である。

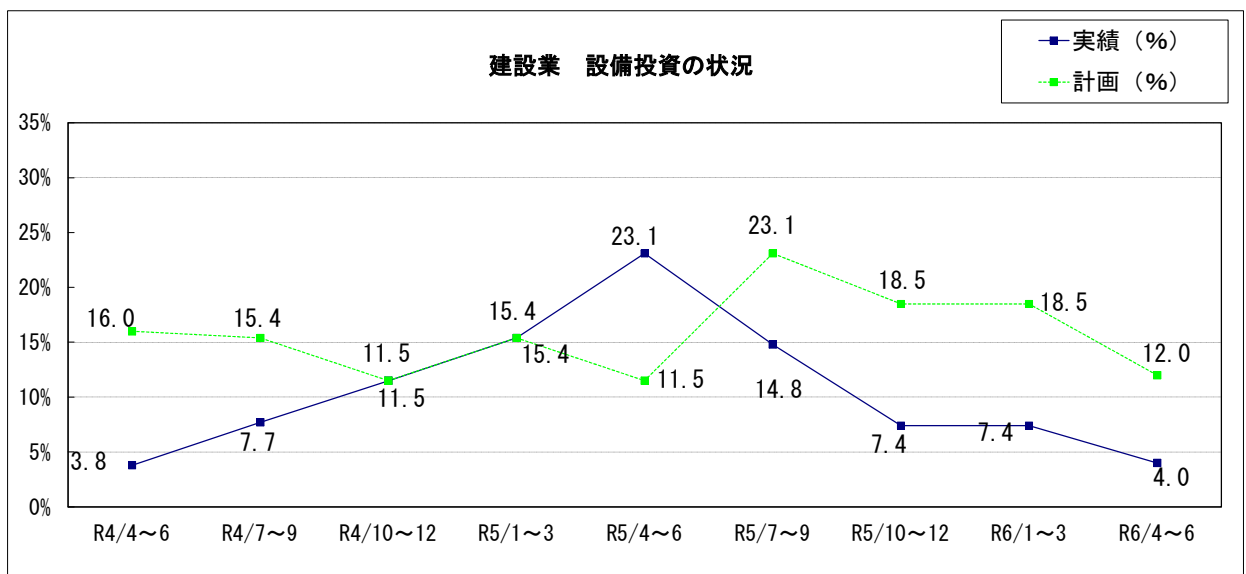


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容							なし	
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設		その他
前期実施（実数）	2	0	0	1	1	0	0	0	1	25
（%）	7.4	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	92.6
今期実施（実数）	1	0	0	1	0	0	0	0	1	24
（%）	4.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	96.0
来期計画（実数）	3	0	0	0	1	0	2	0	1	22
（%）	12.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	88.0

今期設備投資を実施した企業は1社(4.0%)前期(令和6年1月~3月)の実施企業2社(7.4%)
来期は3社(12.0%)が新規設備投資を予定している。



⑤経営上の問題点

今期、建設業が経営上の問題点として一位～三位にあげる項目は

- ・「材料価格の上昇」 (前期70.8%→今期65.2%)
- ・「材料の入手難」 (前期20.8%→今期34.8%)
- ・「従業員の確保難」 (前期25.0%→今期30.4%)
- ・「材料費・人件費以外の経費の増加」 (前期25.0%→今期30.4%) となっている。

